

輝け未来へ
育てよう
豊かな心



2024(令和6)年3月 第80号
川崎区青少年指導員連絡協議会
発行責任者 新井 一成
編集責任者 戸山 達哉
事務局 川崎区役所地域振興課
TEL (201)3133
FAX (201)3209
E-mail 61tisin@city.kawasaki.jp



大師小学校体育館にて

「はじめのかきぞめ大かい」
川中じま小学校
1ねん あらい はのん

わたしはこんかい、はじめてかきぞめ大かいにさんかしました。いっぽいの人すつの中であさからはじめてだったので、あさからともきんちようしてかきはじめて、きんちようはなくなりました。れんしゅうしたときより上手にかけつけてほつしました。すこしかすれてしまつたけど、せんせいやスタッフの人たちがこいいとほめてくれてうれしかつたです。これからは字をたいせつにつかい、人の字もだいじにします。らいねんの大かいにおきて、これからも字を上手に、かくようにがんばります。

この書き初め大会は新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となりました。久しぶりに参加できて嬉しかつたです。私は小学1年生の頃から毎年この大会に参加していました。最初の頃は、初めての大きな紙で、少し緊張もしましたが楽しく書けました。そこから、「はるの空」、「すんだ心」、「光る大地」、と毎年書き初めをしてきました。最初は筆で文字をうまく書けなかつたけれど、段々とうまくなつていくことが分かつて嬉しかつたです。そして今年「新たな挑戦」と書きました。今年中学生になつて部活や授業で忙しかつたこともありあまり練習に時間が取れませんでした。本番は、丁寧に墨をつけ、集中して文字を書き、全力を出せました。この大会に参加して、自分自身の成長が分かつて楽しかつたです。今年もありがとうございしました。これからもこの大会に参加したいです。

第56回 大師地区青少年
書き初め大会
令和6年1月14日(日)

川崎高等学校附属中学校
2年 金子 陽波



表彰式の様子

- 入賞者一覧(敬称略)
- | | |
|---------|-------------|
| 幼児の部 | (金賞) 古澤 未風 |
| | (銀賞) 相沢 つぐみ |
| 小学一年生の部 | (金賞) 早川 茉穂 |
| | (銀賞) 荒井 遥音 |
| | (銅賞) 三浦 叶大 |
| 小学二年生の部 | (金賞) 榎並 桃子 |
| | (銀賞) 三浦 彰斗 |
| | (銅賞) 山本 瑛士朗 |
| 小学三年生の部 | (金賞) 小田川 茉羽 |
| | (銀賞) 青山 碧羽 |
| | (銅賞) 田澤 穂佳 |
| 小学四年生の部 | (銀賞) 山本 楓 |
| | (佳作) 山野 涼葉 |
| 小学五年生の部 | (金賞) 鈴木 里奈 |
| | (銀賞) 谷口 真一 |
| | (銅賞) 青山 柚樹菜 |
| 小学六年生の部 | (銀賞) 松本 葵生 |
| 中学生の部 | (金賞) 金子 陽波 |
| | (銀賞) 小田川 芙羽 |
| | (銅賞) 鈴木 芽彩 |
| | (佳作) 多賀 心咲 |
| 高校生の部 | (金賞) 大嶋 蒼唯 |



六郷橋横で集合写真

「つかれたけど たのしかつたウォーキング」
川中島小学校 3年 佐藤 翔凜

ぼくは、11月25日土曜日にウォーキングにさんかしました。大し公園からはじめて東京方面に歩き、新しい友達が出きたり、どてで野球をしている人を見たりして楽しかつたです。いろいろ楽しかつた中で一番の思いで、ウォーキング中にたぐいずにももんせいかいし、たくさん人がいる中で15人にえらばれておかしをもらえたことがうれしかつたです。たくさんあるいて、とてもつかれたけどたのしかつたので、また来年もさんかしたいと思いました。

大師地区
多摩川ファミリーウォーキング



第44回 かわさき市民祭り

また遊びに
来ちゃった!

11月3日～5日に富士見公園一帯で、かわさき市民祭りが開催されました。
川崎市青少年指導員連絡協議会では、「親子クラフト教室」「薬物乱用防止キャンペーン」を実施し、大勢の親子と触れあい、たくさんの笑顔が見られました。

薬物乱用防止キャンペーン ダメ。ゼツタイ



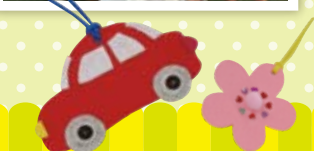
11月5日(日)、薬物の恐ろしさを多くの方に知ってもらうため、キャラバンカーによる啓発活動を行いました。

家族で話す
きっかけになって
よかったね



親子クラフト教室

11月4日(土)、5日(日)に富士通スタジアム川崎内で、今回初めて「フェルトアクセサリー」を実施し、たくさんの親子が参加してくれました。



星空ウォッチング 田島地区青少年指導員会

令和5年11月17日(金)

「たのしかった星空ウォッチング」 さくら小学校 2年 ^{にしやま} ^{るな} 月絆

11月17日にさくら小学校で星空ウォッチングをしました。わたしは、お父さんとお母さんとおねえちゃんとさんかして、はじめて大きなぼうえんきょうをのぞきました。

夏の大三角と土星が見れて、ほう石みたいにキラキラしていてとってもきれいでした。あの光がずっとむかしの光だと聞いてびっくりしました。

土星は、ドーナツのまん中に丸いおかしが入っているみたいでかわいかったです。

くらい夜の学校でお友だちにあえて、ワクワクしたし、たのしかったです。

いろんな人がじゅんぴやわたしたち子どもたちを見まもってくれてうれしかったです。ありがとうございました。

また来年も見たいなあと思いました。



親の共育力・子供は親の鏡

昭和町ドッジボール部 監督
富樫浩一郎

近年子供に関わる問題を直に感じています。それは、「体力低下」と「精神弱体化」です。社会は「集団」で成り立っているのに「個」が尊重され過ぎ「協調性・競争力・挑戦力・忍耐力」の弱体も伺えます。「失敗してはいけない。うまくいかないと簡単に諦めてしまう。」「自分さえ怒られなければいい」=「いい子」が増えています。



要因は、「親の教育」だと思います。「子供は親の鏡」です。共働き世代が増え、多様化した仕事時間に追われ、親子のコミュニケーション不足。親の物差しで価値や常識にあてはめ、子供の可能性を縮小している気がします。それに加え、「大人ができていないよう」に感じとれます。

ご近所の大人と接し、地域の方々との繋がりを広げ、見聞や経験を広く持ち、共に育つ人間力・共育力を共に育んでもらいたいです。人間関係とは「煩わしく、面倒」です。うまくいかないから面白いものです。苦難を楽しみ、親も子も共に成長を楽しもう。

川崎市青少年指導員研修会



令和5年12月10日(日)に川崎市総合自治会館にて、市の指導員101人が参加し、研修会が行われました。講師に神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科の岸川学氏を招き、発達障害のある子どもの理解と対応を学びました。

令和5年12月10日(日)に川崎市総合自治会館にて、市の指導員101人が参加し、研修会が行われました。講師に神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科の岸川学氏を招き、発達障害のある子どもの理解と対応を学びました。

川崎区青少年指導員研修会

令和6年2月4日(日)に川崎区役所会議室にて、3地区の青少年指導員35人が参加して、地域振興課職員による「東海道川崎宿」についての講演と新しくなった川崎市役所本庁舎の見学を行いました。



三地区合同パトロール

令和5年11月11日(土)午後6時45分に集合し、2班に分かれて「川崎夜市」のパトロールを行いました。

今後もパトロールを通じ、青少年の「非行の防止」「犯罪の起きにくい街づくり」に貢献できるよう継続していきます。



自転車安全運転見守り活動

中央地区青少年指導員会

令和5年10月12日(木)に南町交番前において、青少年指導員18名が自転車安全運転見守り活動を行いました。



神奈川県青少年指導員表彰受賞者



吉田 一郎 指導員
中央地区
渡田東町町内会

川崎市青少年健全育成成功労者表彰受賞者



高橋 まゆ子 指導員
中央地区
渡田山王町町内会



小林 雅子 指導員
中央地区
渡田新町1・2丁目町内会

編集後記

たくさんの方々にかわさき市民祭りを始めとした催しにご参加いただき、大変感謝しています。

青少年指導員は、参加いただいた子どもたちやそのご家族の笑顔を楽しみにしています。

今後もより多くの人に参加いただけるように様々な催しを企画、開催していきます。